

令和4年3月9日
中部地方整備局
港湾空港部

尾鷲港の魅力を生かしたみなとまちづくりを考えます ～尾鷲市で美しい中部のみなとまちづくりフォーラムを開催～

3月26日(土)に、三重県東紀州地域のほぼ中央に位置する尾鷲市で、第16回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラムを開催します。

フォーラムでは、重要港湾「尾鷲港」とその周辺地域の特徴を活かした発展方法について、行政関係者や港湾関係者等を交えて議論し、尾鷲港の活気あふれるみなとまちづくりの着実な実現を考えます。

1. 開催概要

- 件名：第16回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラム in おわせ
日時：令和4年3月26日(土) 14:00～16:00 (受付開始 13:30～)
場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂(三重県尾鷲市中村町10-41)
主催者：第16回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラム実行委員会
[尾鷲港振興会、尾鷲市、尾鷲商工会議所、おわせSEAモデル協議会、
三重県、都市環境ゼミナール、中部地方整備局]
後援：三重大学東紀州サテライト
内容：① 講演「ウィズコロナのクルーズ船運航状況と寄港地への期待」
小林 雅 氏 (商船三井客船株式会社 営業グループ 次長)
② 講演「海上コンテナによる国内物流について」
竹内 崇人 氏 (井本商運株式会社 営業部 海コン便事業課長)
③ パネルディスカッション

2. 添付資料

第16回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム in おわせ リーフレット

3. 取材

- 取材をご希望の方は、別添「取材登録」をご参照いただき、3月23日(水)12時までに電子メールにてお申し込みをお願い致します。
- 当日は、講堂前の受付にて手続きをお願い致します。
- カメラ等による撮影は、自由です。なお、取材の際は報道機関名がわかる取材者証(腕章)等の着用をお願い致します。

4. その他

今後の状況により開催を取り止めることとなった場合は、お申し込み時に送付いただいたメールアドレスにご連絡致します。また、中部地方整備局 港湾空港部のホームページの「お知らせ」欄にも掲載致しますので、合わせてご確認ください。

<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/>

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、三重県政記者クラブ、尾鷲市記者クラブ、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

<お問い合わせ先>

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部

港湾計画課 岩佐(いわさ) 浦野(うらの)

TEL : 052-209-6323 E-mail : pa.cbr-keikaku-tyou@mlit.go.jp

取材登録

◆取材をご希望の方は、件名を「取材申込」としていただいた上で、以下の記載事項を電子メール本文に直接入力し、送信先アドレス宛に送付いただくようお願い致します。

【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者(複数名の場合は代表者)
 - ①. ご氏名
 - ②. ご役職
 - ③. 取材人数
3. 連絡先
 - ①. 電話番号
 - ②. 当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①. と同じ場合は不要)

送信先：pa.cbr-keikaku-tyou@mlit.go.jp

※件名を「取材申込」として下さい。

申込締め切り：令和4年3月23日(水) 12:00 必着

＜留意事項＞

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対応として、可能な限り少人数での取材をお願い致します。当日は各自マスク着用等による感染防止対策の実施や、検温、消毒等にご協力下さい。なお、発熱等の症状がある方は取材への参加はお控えいただきますようお願い致します。
- 取材当日は、担当者の指示に従って下さい。
- 今後の状況により開催を取り止めることとなった場合は、お申し込み時に送付いただいたメールアドレスにご連絡致します。また、中部地方整備局 港湾空港部のホームページの「お知らせ」欄にも掲載致しますので、合わせてご確認下さい。

<http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/>

テーマ

尾鷲港の活気あふれる “みなとまちづくり” 実現に向けて

令和4年 3月26日(土)

入場
無料

14:00 ~ 16:00 (開場13:30~)

会場：尾鷲市立中央公民館 3階講堂

尾鷲港は、三重県東紀州地域のほぼ中央、リアス式海岸を有する尾鷲湾奥に位置する天然の良港であり、木材及び漁獲物の集積地として重要な役割を果たしてきました。

尾鷲市では、昨年11月に「尾鷲市港まちづくりビジョン」を策定、本年1月に尾鷲港振興会が設立され、今後はビジョンの実現に向け、官民が一体となって同じ方向を目指して取り組んでいくことが必要です。

本フォーラムでは、尾鷲港と周辺地域の特徴を活かした発展方法について、行政関係者や港湾関係者等を交えて議論し、尾鷲港の活気あふれるみなとまちづくりの着実な実現を考えていきます。

講演

「ウィズコロナのクルーズ船運航状況と寄港地への期待」

商船三井客船株式会社 営業グループ 次長 小林 雅 氏

「海上コンテナによる国内物流について」

井本商運株式会社 営業部 海コン便事業課長 竹内 崇人 氏

パネルディスカッション

「尾鷲港の現状と特徴から港のセールスポイントを考える」

「東紀州地域における尾鷲港の役割を踏まえた、これからの港湾のあり方」

- 【パネリスト】 小林 雅 氏 (商船三井客船株式会社 営業グループ 次長)
竹内 崇人 氏 (井本商運株式会社 営業部 海コン便事業課長)
下村 新吾 氏 (尾鷲市 副市長)
野田 隆代 氏 (尾鷲商工会議所 副会頭)
速水 亨 氏 (速水林業 代表)

【モデレータ】 伊藤 達雄 氏 (都市環境ゼミナール 会長)

●お問合せ先 国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
電話：052-209-6323 メール：pa.cbr-keikaku-tyou@milit.go.jp

※参加申し込みは裏面をご覧ください※

主催：第16回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム実行委員会

[尾鷲港振興会、尾鷲市、尾鷲商工会議所、おわせSEAモデル協議会、三重県、都市環境ゼミナール、中部地方整備局]

後援：三重大学東紀州サテライト

講演者、パネリスト、モデレータ プロフィール



小林 雅(こばやし ただし) 商船三井客船株式会社 営業グループ 次長

1973年生まれ。中央大学商学部商業貿易学科卒。1997年商船三井客船株式会社へ入社。船舶オペレーション業務担当、クルーズ商品企画業務担当、広報業務担当、寄港地ツアー企画運営業務担当を経て、現職。



竹内 崇人(たけうち たかひと) 井本商運株式会社 営業部 海コン便事業課 課長

1981年生まれ。京都産業大学経済学部卒業後、2004年に株式会社近鉄エクスプレスに入社。当時のロジスティクス営業部に配属となり、輸入通関業務や国際航空貨物輸送のオペレーション管理・販売などを経験。その後、2009年に井本商運株式会社へ転職。営業部に所属し、輸出入貨物のフィーダー輸送営業に従事した後、2019年より現職。現在は、海上コンテナと内航コンテナ船を使った国内物流サービス「海コン便」の普及を目指して営業活動中。



下村 新吾(しもむら しんご) 尾鷲市 副市長

1961年生まれ。1980年三重県立尾鷲高等学校卒業後、尾鷲隔離病舎組合を経て、1988年尾鷲市役所入庁。総務課課長補佐、市長公室室長補佐、2013年福祉保健課長、2014年総務課長兼選挙管理委員会書記長を経て、2020年4月から現職。



野田 隆代(のだ たかよ) 尾鷲商工会議所 副会頭、にぎわいの港まちづくり委員長

1958年生まれ。皇学館大学文学部卒業後、家業を経ながら商工会議所活動に積極的に参加し、2014年に商工会議所議員に就任して現在は副会頭を務める。前回の本フォーラムでパネリストを務めた後には、自主的に参加した尾鷲港の利用促進を巡る勉強会で得た知識やネットワークを駆使し、商工会議所にぎわいの港まちづくり委員長および副会頭として尾鷲港振興会の設立を主導、2022年1月19日の尾鷲港振興会設立総会に至った。



速水 亨(はやみ とおる) 速水林業 代表、株式会社森林再生システム 代表取締役

1953年生まれ。慶応義塾大学卒業後、東京大学農学部研究室を経て家業の林業に携わる。2000年日本初のFSC認証取得。平成30年農林水産祭天皇杯受賞。農林水産省林政審議会委員、国土交通省国土審議会計画部会専門委員等歴任。現在は三重県林業経営者協会会長。みえ森林・林業アカデミー特別顧問。日経出版「日本林業を立て直す」(日本政策分析フォーラム シンクタンク受賞)等。



伊藤 達雄(いとう たつお) 都市環境ゼミナール 会長

1932年生まれ。1962年東京教育大学(現筑波大)大学院理学研究科博士課程修了、理学博士。三重大学教授、シカゴ大学招聘教授、三重大学人文学部長、四日市大学教授、名古屋産業大学学長を経て、現在、三重大学名誉教授、名古屋産業大学名誉学長、愛知工業大学客員教授。専門は都市地理学、地域経済学、地域政策論、環境政策論など。

会場周辺案内図



第16回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラム 参加申込

お申し込み期限:令和4年3月23日(水) 定員:100名(先着)

◆参加をご希望の方は、件名を「参加申込」としていただき、本文に

- ① <事業所・団体名>
- ② <参加者氏名>
- ③ <住所(市区町村まで)>
- ④ <電話番号>

以上をご入力の上、メール宛先:pa.cbr-keikaku-tyou@mlit.go.jpへお送りください。

【個人情報の取扱について】本票に記載された個人情報は、フォーラムの参加申し込み・受付名簿作成以外の目的では使用いたしません。
【取り止めの場合】今後の状況により開催を取り止めることとなった場合、お申し込み時に送付いただいたメールアドレスにご連絡致します。また、中部地方整備局 港湾空港部のホームページの「お知らせ」欄にも掲載致しますので、合わせてご確認ください。